

# 文教厚生委員会視察研修

(平成16年10月5日～6日)

## 視察先

### 組合立諏訪中央病院 茅野市役所学校教育課

#### (1) 組合立諏訪中央病院

「あたたかな急性期病院」をスローガンにやさしく、あたたかく、たしかな医療を目指し予防からリハビリまでの一貫した医療、充実した救急医療等を医療目標に掲げ茅野市・諏訪市・原村で構成する一部事務組合で362床の病院。約1万坪の敷地の中に、緩和ケア病棟、療養型病棟、介護老人保健施設、ドック検診センター、訪問看護ステーション等効率的に運営されている。24時間365日患者を断らない努力をしている。「放り出さない」「見放さない」「医療を実践している」。



#### (2) 茅野市学童クラブ

平成9年4月1日から実施している。7ヶ所の小学校、2ヶ所の地区センター、1ヶ所の保育園、計10ヶ所に設置されている。入所できる児童の範囲は、小学校1年生から3年生までの児童で保護者が就労等により家庭にいない児童及び適切な保護に欠ける児童である。



# 原子力対策特別委員会視察研修

(平成16年11月9日～10日)

11月9日から10日の2日間担当議員9名で、福井県の美浜原子力発電所の配管破損事故及び高浜町におけるプルサーマル実施への取り組みと計画について研修を行いました。

研修概要は以下のとおりです。

(1) 美浜原子力発電所で、事故状況の住民への周知方法はCATVによる文字放送や報道チャンネルを利用して広報しましたが、事故直後からの負傷者の救急搬送が多かったため、野外放送による広報の必要が生じていました。役場においては事故対策会議を深夜までに3回行いました。国は事故翌日に経済産業大臣が現地視察を行い、美浜町はこの時点で支援要請を行っている。町広報誌では緊急特集記事を3カ月に亘り掲載し町民への情報提供に努めており、住民は事故を冷静に受け止めている。

(2) 高浜町におけるプルサーマル計画は閣議決定をうけ推進を表明していたが、MOX燃料の不正が発覚し計画は頓挫した。今回の美浜原発事故を契機に本計画は一時保留となっている。高浜原子力防災センターは全国21ヶ所の原子力保安検査官事務所の一つである。本センターは平成11年の(株)JCOにおける臨界事故を教訓に作られたオフサイトセンターで全体会議用の大型映像装置やTV会議システム、各種電算システムが設備されている。建物本体は体育館のようなワンフロアで全ての機能が集中しており、御前崎市の当該センターと建物構造の違いがあった。